

様式第1号

令和 7 年度政務活動費収支報告書

総社市議会議員 仁熊 進

1 収 入

政務活動費 210,000円 利子 0円

2 支 出

(単位 : 円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	0	
研修費	0	
広報費	211,926	議会報告の広報紙印刷代・広報誌の配布代
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
合計	211,926	1,926円は自己負担

3 残 額

0円

210,000円-211,926円= -1,926円

(注) 備考欄には , 主たる支出の内訳を記載する。

領収書等貼付用紙

議員氏名

仁徳, 進

支出年月日	令和7年4月28日 (~ 年 月 日)
金額	36,806: 円
使 途 項 目 (該当を○で囲む)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
(領収書等貼付欄)	
別添付	
領収書等を貼付する場合は、記載事項が重ならないように注意してください。 領収書等を複数添付する場合もそれぞれの領収書等が重ならないよう注意してください。 重なる場合は、別紙A4用紙等に貼付し本紙とホッチキス留めするなどし提出してください。	
通帳の写しを貼付する場合は、口座番号・日付・金額が分かるように貼付し、該当の記帳欄に下線を引いてください。	
(使途等)	
議会報告印刷代 B4両面から 4,000枚	
(案分率及び案分理由等記入欄) ※案分した場合に記入	

〒719-1125
岡山県総社市井手1187-8

作成日：2025年04月28日

〒612-8395 京都市伏見区下鳥羽東芹川町33
email:store@graphic.jp



株式会社グラフィック

代表取締役

仁熊進様

商品代金合計	36,806円
--------	---------

【内訳】

消費税10%対象 36,806円 (内税)3,346円

立誓金

0円 ※郵便・年賀はがき等

單位：元

[illegible]

【お支払い方法】 オンラインID決済

【決済完了日】 2025年04月28日

【納品方法】 ヤマト運輸

【備考】



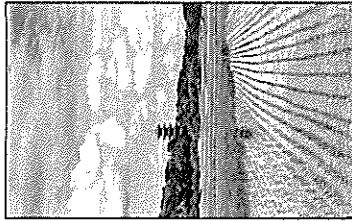
皆さん、こんにちは！今回の一般質問は大きく分けて市長の選挙公約と維新小学校、幼稚園跡地利用に関する片岡市長の考え方を問いました。あと2年半ある片岡市政への期待と課題点を洗い出し、残すところ半年の任期（次の議会選挙は9月21日投票です）の中で課題を明確にしておきたいと思います。

トピックス01 総社市民の命をつなぐ農家の苦悩

今、米農家が揺れに揺れています。米農家は歪められた農政の中で一番の被害者になっているではありませんか。

1995年に食管法が廃止されるといきなり減反政策が始まりました。そして5年前の種苗法の改悪、昨年の食糧緊急事態法の制定です。いまだに農水省から米の統計が発表されています。しかし食管法が廃止された後、農水省は米の取れ高を知る術を持ち合わせていません。

発表されている統計は農水省の知り得た範囲内での予想でしかないのです。それに市場が敏感に反応して相場になっているのが現実です。米農家にとっては何のメリットもありません。国民には高くなった米を買い取る所得を、農家は持続可能な価格保証と所得保障の二重の安心を作っていくべきだと考えます。加えて、総社市に対して後継者の育成と地域へ定着するための施策を求めて参ります。



吉備路の田園風景

トピックス02 国道180号線の沿道開発について市長の考えを聞きました。

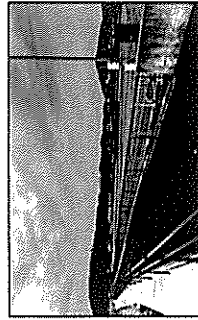
にぐま：180号線バイパスの沿道開発とは何を指すのか？

市長：180号線バイパス西側終点の北側に空き地ができていて、ここを居住地域として開発し人口増に繋げたい。

にぐま：以前、県大周辺の服部地域を居住地域にしたいと市長は答弁された、田園風景の広がるところで賛否両論があり、また埋蔵文化財が豊富などところで手をつけ難いのもわかるが、市が手をこまねいていては何か始まらないのでは？

市長：何も考えていない訳ではない。これからの総社市にとって重要な地域でもあり、あまり時間をかけずにしっかりと答えを出していきたい。

県立大学創立から32年になります、遅きに失すと思いますが、大学と共存共栄していく地域の将来を、真剣に議論していく場が必要ではないでしょうか。



180号バイパス西詰付近



180号バイパス県大付近

スポーツ記事01

維新小学校と幼稚園の跡地利用

この問題は一昨年10月から文教福祉委員会でも、ずっと議論してきた問題です。地元協議会の方々とも何度か協議を重ね要望も伺ってきました。



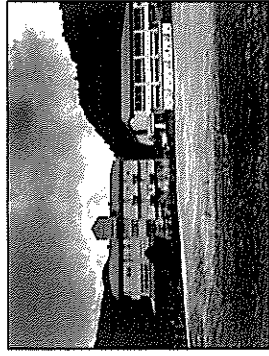
旧維新小学校遠景

最初におかしいと感じたのは、市の財産でありながら市が持っている選択肢を提示することなく、地元に見解の取りまとめを求めたことです。少なくとも今後かかる費用について幾つかのシミュレーションに基づいて行った、試算くらいは提示すべきだったと思います。

市には市長・副市長・政策監・教育長がいます。できない筈がありません。

それでもできないというなら、それだけの熱意がなかったという事です。

市長は「すぐに案を出せば拙速だと言われる」とおっしゃいました。協議は相手の主張を理解しようとするところから始まります。そこに拙速は関係ありません。どちらにしても地元住民が悩み苦しみだしたことへの言い訳にはなりません。早急に中身のある協議を始めて頂きたいことを強く訴えて参ります。



廃校になった校舎と体育館

スポーツ記事02 作山古墳の発掘について

総社市の先祖は何者であったのかを知る必要がある。我々の先祖を知って、それを敬っていただくの大切さを市長は訴えます。

古代吉備王国のロマンもわからないではありません。

しかし、なぜ今なのでしょいか？

大そうなる物が発掘されたとしても、それを活用するためには何十億円規模の予算が必要になります。今ある文化遺産を活かしきれずにいる総社市です。

金山や銀山が発掘されるならいざ知らず、ロマンだけで市民が潤うはずがありません。花より団子とは言いませんが、今ある自然の風景をしっかりと守りながら未来に繋げていくほうが先決ではないでしょうか。

市民から預かった税金は一文たりとも無駄遣いできません。危機感を持って市政に取り組むよう訴えます。



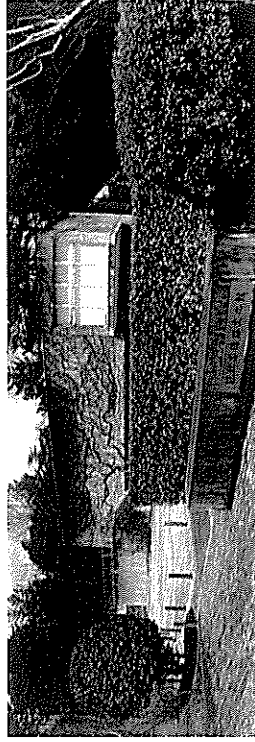
作山古墳周辺の風景

予算案をピックアップ

Topic 01 吉備路文化館の照明をLED化に予算

吉備路文化館に多くの方が訪れて美術品の鑑賞を楽しまれていると聞きます。みなさん吉備路文化館、行かれた事がありますか？もしや場所も知らないという方はいらっしやいませんか！

国分寺五重塔の東側の山の中にひっそりと佇む築50年2階建ての建物です。建物自体に手を入れないといけない状態です。そこに1,180万円のLED化予算が付いています。2027年末で製造も輸入も禁止される蛍光灯の取り替えは必要だとは思いますが。しかし、老朽化した建物の存続の可否について、先に議論されるべきではないでしょうか。



総社吉備路文化館

Topic 02 ワンストップ窓口に250万円

ワンストップとは1箇所で全ての用事が完結することを想像します。そこでシルバー人材センターのワンストップ窓口に250万円の補助とあったので質問しました。回答はシルバー人材センターに来た利用者に対してヒヤリングしたり相談を聞いたりする場所だと言うのです。これをワンストップとは言いません。引き続き調査いたします。

Topic 04 加齢性難聴の補聴器購入補助について！

加齢性難聴で住民税非課税世帯の方に補聴器の購入費5万円を補助するものです。補聴器は非常に精密で個人の特性に合わせて作る必要があるため高価です。概ね30万円から45万円程度といわれています。失礼かもしれませんが非課税世帯の方に自己負担25万円から40万円は重すぎませんか。他の自治体と同等の要件としたと言います。全国屈指の福祉先進都市と自画自賛しながら、都合の悪いところは他自治体と歩調を合わせる。完全なダブルスタンダードです。

市長の選挙公約について聞きました

1、高校3年生までの医療費無償化

にぐま：市長は高額な予算が必要になるためスクラップ&ビルドを実行しながら予算を確保し実行していきたいと答弁されたが全く進んでいる気配がない、本当にやる気はあるのか？

市長：やる気は今でもある。しかしながら中学生の医療費を無償化した途端に市の負担が増えた。無償化するためには現状以上の予算を確保する必要がある。市民に適正な受診を理解してもらいながら進めていく。

2、民間病院助成による医療体制のレベルアップ

にぐま：民間2病院に約20億円の助成が行われたが医療体制のレベルアップとは何を指すか？

市長：主には救急医療の充実である、今まで市外病院に搬送されていた患者が市内で間に合うとなれば、救われる命も多くなってきて市民に安心感を与えることになる。

にぐま：市が助成したのは主に先進的医療機器とかその施設である。本当に市民が安心できる病院というのは、そこにいる医療従事者のレベルアップがあつてこそではないか？

市長：その通りだ、マンパワーに対して補助はできないが救命救急医療の充実と合わせて病院側にお願ひしていく。

3、老人医療介護の在宅支援

にぐま：老人医療介護の在宅支援とは何を指すのか？

市長：他市に比べて総社市では多くの高齢者支援を行っている、その中で約2430人の方が在宅介護を必要とされている。

にぐま：在宅支援を必要としている方々にとってヘルパーさんは欠かせない存在だ、そのヘルパーさんを支援する取り組みも必要ではないか？

市長：100歳のお祝いに訪問するとヘルパーの方々と意思疎通ができていて愛し愛されているのがよくわかる、今後頑張るべく願ひしていく。

4、人口減少地域への予算増額

にぐま：予算を増額したら人口が増えて地域が活発になりますか、予算を増やして地域の困っていることに対応してくれるのは、ありがたい事だが金をやるから我慢している、と言っているように思える？

市長：我慢しろは言い過ぎだと思う。人口減で大変なところへ予算をつけて人口維持できるだけでも成果だと考える。

にぐま：問題は人口減少だ、市が地域の起爆剤になるような思い切った施策を持つてくる必要がある。そのためには何億何十億と注ぎ込む覚悟が必要だと考えるがどうか？

市長：人口減少地域の人たちが頑張れるよう予算を増やしている、現状を維持して頂きながら、いろんな可能性を考えていきたい。

領収書等貼付用紙

議員氏名

仁熊進

支出年月日	令和7年5月5日(～年 月 日)
金額	16,000 円
使 途 項 目 (該当を○で囲む)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
(領収書等貼付欄)	

No.
発行日 令和7年 5月 5日

領 収 書

総社市議会議員 仁熊 進 様

金額 ￥16,000-

但し 広報誌配布2000枚配布、期間5/7から5/20
上記正に領収いたしました。印 収
紙 入

(使途等)

議会報告配布代: 2,000枚

期間(5/7~5/20)、印刷(中央、三須)

(案分率及び案分理由等記入欄)

※案分した場合に記入

領収書等貼付用紙

議員氏名

仁藤 洋

支出年月日	令和7年 7月 1日 (～ 年 月 日)
金 額	47,300 円
使 途 項 目 (該当を○で囲む)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
(領収書等貼付欄)	
別添付	
領収書等を貼付する場合は、記載事項が重ならないように注意してください。 領収書等を複数添付する場合もそれぞれの領収書等が重ならないよう注意してください。 重なる場合は、別紙A4用紙等に貼付し本紙とホッチキス留めするなどし提出してください。	
通帳の写しを貼付する場合は、口座番号・日付・金額が分かるように貼付し、該当の記帳欄に下線を引いてください。	
(使途等)	
議会報告印刷代 B4 西国カラ 8,000枚	
(案分率及び案分理由等記入欄) ※案分した場合に記入	

NHK報道の「そうじや地食べ公社」問題とは？

- ・ふるさと納税に必要な経費に使うとして補助金を受け取る。
- ・実際には公社の運営で生じた損失の穴埋めにも補助金を流用。
- ・公社へ4年間で、市から2億円を超える補助金を交付。
- ・開示請求するも令和4年度の申請や報告書類を誤廃棄と回答。

市の回答「公社の損失額から、補助金の額を決めていた」

虚偽申請では？

これでは虚偽申請か？と問われると、
そうですとしか言いようがありません。

しかし？ 公社は小規模農家にとって重要な役割を果たしています。赤字補填は、農家への支援と受け取ることもできます。

- ・原因は市と公社の馴れ合い・農会の方不足・長期行われなかった監査

市民に納得してもらえら説明が出来るよう徹底した
調査の継続を要望しました。

CA そもそも、地食べ公社って何？？

そうじや地食べ公社（代表 片岡総社市長）
「一般財団法人そうじや地食べ公社」は、岡山県総社市に拠点を置く第三セクター組織です。総社市の農業振興と地域活性化を目的とし、「地元のを食べる」というコンセプトで地産地消を推進しています。

主な事業は、総社市産の農産物や加工品を、市役所、スーパー、オンラインショップ、学校給食などで販売することです。農家の担い手育成や農作業の受委託も行い、生産者と連携して販路を開拓し、地域農業者の所得向上を目指しています。

QA 農家支援について市長に聞きました！

- ・仁熊議員：市で定義する小規模農家数とその推移は？

・市長：3町未満が94.3%を占め、総社市の農業の屋台骨となっている。

- ・仁熊議員：小規模農家の役割をどう考えるか？

・市長：市民の食卓や健康を守り、農地の維持に重要な役割を果たす。

- ・仁熊議員：国や県の支援はハードルが高い。市独自の支援が必要では？

・市長：市は今が小規模農家に寄り添う最も大切な時期だと認識している。

- ・仁熊議員：農家への情報提供はどのように行われているか？

・市長：窓口、HP、LINE、広報誌が主だが、口コミも大切だと思う。

- ・仁熊議員：市独自の支援は必要と考えるが、市長の見解は？

・市長：「総社市代社中」を設立した、高齢農家の耕作継続と米価安定を目指す。

- ・仁熊議員：高齢農家の免許返納による出荷運搬困難への支援は？

・市長：過去に郵便局連携を検討したがコストで断念。デリバリーは今後も研究のテーマ。

- ・仁熊議員：市は農家への情報発信を強化すべきでは？

・市長：「やります」と情報発信の強化を約束しました。

小規模農家・高齢者農家を救うことが、若い世代に希望を与えてくれます。
自然を守り、市民の食卓を潤す農業への支援を引き続き訴えていきます！



町内会・自治会 ・地域づくり協議会について

仁熊議員: 町内会・自治会の未加入世帯数とその推移はどうか?
市長: 令和7年に60.4%に減少、令和3年は63.1%。中心部で未加入が多い。

仁熊議員: 未加入世帯への対応(清掃、ゴミ、広報誌配布)は?
市長: 地域でまちまち。ゴミ捨て不可や広報誌未配布のケースもある。

仁熊議員: 町内会解散時の取り扱いなど統一的なルールはないのか?
市長: 難しいジレンマ。市は町内会加入を強く推奨し、勧誘を支援する。

仁熊議員: 町内会解散時のデメリットを市民に情報提供すべきでは?
市長: マニキュアルの必要性はある。解散を助長しないよう慎重に検討する。

仁熊議員: 「自由枠交付金」が未加入世帯に届かないのは不公平では?
市長: 制度崩壊の可能性も。市民に「ぜひ加入してほしい」と強く訴える。

仁熊議員: 市は市民へ説明責任を果たし、意見反映の機会を作るときでは?
市長: 発信しますと情報発信を約束。未加入者の声が届く仕組みも重視。

まとめ: 市民の税金が地域づくり協議会を通じて地域に分配されています。しかし町内会に属さない世帯には恩恵が薄く、不公平感があることは否めません。各団体の役員の方々は地域のために努力されていることも事実です。

防災・高齢者福祉・子育てなど大きな責務を担う町内会・自治会そして地域づくり協議会の発展に向けた、総社市ならではの施策を考える時期が来ているのではないのでしょうか。

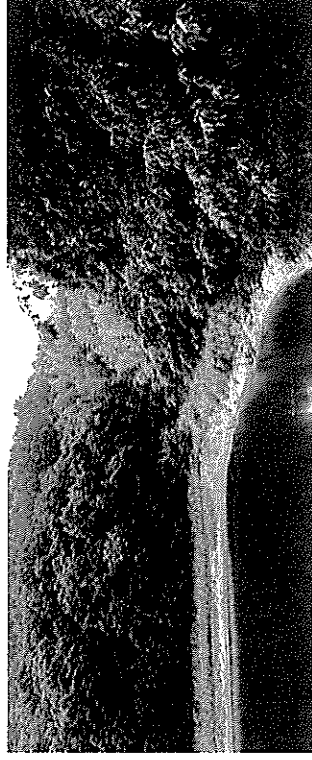
みんなが平等に仲良く暮らせる総社市へ

※総社市における問題点や政策提言などを下記SNSやブログで発信しています。ぜひ、ご覧ください！



Q&A ため池で起きた、小學生死亡事故について

- 仁熊議員: 先日のため池事故について、どのように考えているか?
- 市長: 「断腸の思いでかわいそう」「語る言葉もございません」と深い悲しみを表明した。
- 仁熊議員: 事故を未然に防ぐだけでなく、発生時の救助対策も必要では?
- 市長: 救助器具(救助ネットなど)を「よく研究し、できるものは実施したい」と述べた。



調査報告事項 文教福祉委員会です市側から報告がありました。

放課後児童クラブ

- 市内の全クラブで1年生から6年生まで利用ができるよう目指していきたい。
- 設備面では不足するものについて、早急に対処していく。
- 総社小学校・常盤小学校は学校敷地が狭いために憂慮している。
- 現在の施設はそのままに、新施設建設を目指す。
- 運営は民間委託が良いと考えるが、委員会方式を残してほしいとの声もある。

吉備路マラソン

- 2026年大会は7000人減の1万5000人の参加者を募集する。
- 同じく市の負担金予算は300万円減の3千300万円とする。
- 大会の継続について大会委員から、地域の進行に大きく寄与しているなど賛成意見が多数あった。

仁熊議員の意見:

放課後児童クラブは利用者の増加に伴い支援員の不足が問題となっています。人員確保のための施策が急務です。

吉備路マラソンの募集7千人減は誤魔化しです。今年の参加者は1万5千人を切っています。しかも、大会関係者に意見を聞いて継続賛成の声が多いのは、当たり前です。多くの一般市民の声を聞く姿勢が必要だと、意見しました。

領収書等貼付用紙

議員氏名 仁熊 進

支出年月日	令和7年7月10日(～年 月 日)
金額	48,000 円
使 途 項 目 (該当を○で囲む)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
(領収書等貼付欄)	

No.
発行日 令和7年 7月 10日

領 収 書

総社市議会議員 仁熊 進 様

金額 ￥48,000-

但し 広報誌配布6000枚配布、期間7/12から7/31
上記正に領収いたしました。印 収
紙 入

(使途等)

議決報告配印代 6,000枚

期間(7/12～7/31) エリア(総社・井手・中央・服部・三須・泉瀬川)

(案分率及び案分理由等記入欄)

※案分した場合に記入

領収書等貼付用紙

議員氏名

仁 藤 進

支出年月日	令和7年9月4日(～年 月 日)
金 額	39,820 円
使 途 項 目 (該当を○で囲む)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
(領収書等貼付欄)	
別添付	
領収書等を貼付する場合は、記載事項が重ならないように注意してください。 領収書を複数添付する場合もそれぞれの領収書等が重ならないよう注意してください。 重なる場合は、別紙A4用紙等に貼付し本紙とホッチキス留めするなどし提出してください。	
通帳の写しを貼付する場合は、口座番号・日付・金額が分かるように貼付し、該当の記帳欄に下線を引いてください。	
(使途等)	
議会報告印刷代B4両面カラー 5000枚	
(案分率及び案分理由等記入欄) ※案分した場合に記入	

納品書（兼領収書）

〒719-1125
岡山県総社市井手1187-8

作成日：2025年09月04日

仁熊 進 様

〒612-8395 京都市伏見区下鳥羽東芹川町33
email: store@graphic.jp



株式会社グラフィック

代表取締役



商品代金合計	39,820円
--------	---------

【内訳】

消費税10%対象 39,820円 (内税)3,620円 立替金 0円 ※郵便・年賀はがき等

単位：円										
カートNo	注文No 注文日 出荷完了日	品名 商品内容	印刷・加工料 (オプション 代含む)	ディスカウント	調整金	立替金	送料 郵送料 投函料	手数料	使用PI	カート別 請求合計
	2025/09/04 2025/09/05	B4フライヤー 1日納期 / 両面カラー マットコー ト110kg / 5,000枚	39,820	0	0	0	0	0	0	39,820

【お支払い方法】 オンラインID決済

【決済完了日】 2025年09月04日

【納品方法】 ヤマト運輸

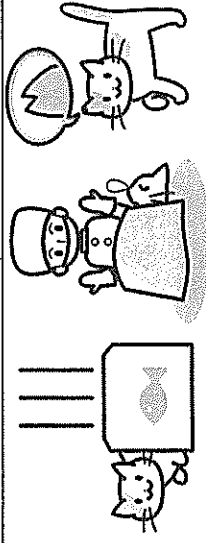
【備考】

にぐま議会報告

地域猫活動の現状と課題について質問しました



課題	問題点の指摘	市長の回答
団体認定のハードル	総社市では地域猫活動団体の認定ができず、県（御津の愛護センター）まで行かなければならない。岡山・倉敷市は保健所があるため市で認定可能。この手続きの煩雑さが、市内の団体数が増えない一因となっている。	環境水道部長は、総社市は保健所を持たないため、県の事業として対応しているとの説明。市に認定する立場にはないとした。市長は、御津まで行くのは困難だろうと理解を示し、「ちよっと研究させてください」「勉強させてください」と市で対応できるか検討する姿勢を見せた。
手続きの遅延	猫を保護してから助成金が支給されるまでに時間がかかり、その間の保護者の経済的・精神的負担が大きい。	市長は自身も62頭の保護猫の里親探しを個人的に行っている経験から、この問題の深刻さを理解しており、改善を検討する意向を示した。
補助金の使途	活動団体は、個別の手術費助成（上限1万円）よりも、その資金を啓発活動に使ってほしいと望んでいる。獣医師と連携した学校教育や市民向けセミナーなど、動物愛護の意識を根本から育てるための活用を提案した。	市長は、動物と触れ合い命を大切に思う気持ちを育む教育は「非常に大事だ」と述べ、教育委員会と相談して検討すべきとの考えを示した。また、過去に鳩、トンビ、フクロウなど多くの動物を飼育した自身の経験を語り、学校教育における動物愛護の重要性に深い理解を示した。
シェルターの設置	吉備中央町の廃校を利用した猫のシェルター「ティアハイム」を例に挙げ、総社市でも余剰施設を活用したシェルター設置を提案した。	市長は「全然無駄だとは思っておりません」としつつも、「やりすぎみたいなことにはなかなかちよっと言いづらい」と即答を避け、検討課題とするとを示唆した。



Q 蛍光灯の2027年問題とLRD化について質問しました

質問1：照明器具のLED化は市有施設でどのくらい進んでいるか？

市長1：令和7年度・8年度で合計239箇所(LED化を実施する予定である。これは全体の61%にあたり、残りはLED化の必要ない箇所である。

質問2：住居全体をLED化にすると15万円程度の出費になる。経済的困窮世帯、特に公営住宅のLED化に補助が必要ではないか？

市長2：生活保護受給者に該当しないものの経済的困窮者がどれくらい存在するか調査しながら検討していく。



Q こどもの学力向上と心の教育について質問しました

質問1：総社っ子輝きプランの中で、「自分の思いを文章にするのが苦手」と考える中学生が7割いた。これを克服するための教育が必要ではないか？

教育長1：現在は教育振興基本計画の中で明記している。思いを表現する力は重視している。

質問2：デジタルの教育からリアルな教育に回帰しているのが世界の流れだ、デジタル化で学力が低下していることが問題視されている？

教育長2：時代変化への対応は必要だが、心の教育が一番だと思う。心があって、それから学力だと考えている。

1.医療福祉：妊娠・出産支援と不妊治療について

人口動態を踏まえ、市の妊娠・出産支援、特に不妊治療サポートのあり方について質問しました。

1.1. 人口動態と出生数の現状

人口：直近の人口は69,585人で、前年同日比で17人増加している。市長は「カスカスですが増えている」と表現し、この状況で増加している自治体は県内でも稀であるとの認識を示しました。
出生数：令和5年度の年間出生数は474人となり、目標としていた500人を初めて下回った。人口に対する割合は0.68%。
令和6年度は15人増の489人（人口比0.7%）と若干改善する見込みで、市長は「この状況の中でよく頑張ってくださっている」と評価しました。

1.2. 不妊治療サポートにおける課題

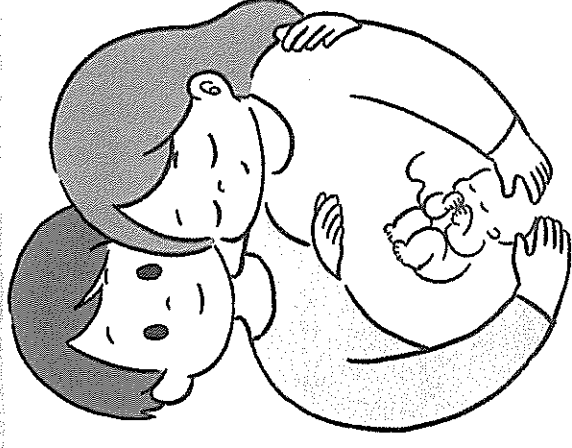
課題	総社市の問題点と課題	片岡総社市長の回答
事業名称の分かりにくさ	国の保険適用化に伴い、従来の「特定不妊治療」から「生殖補助医療費助成金給付事業」に名称が変更された。これにより、「不妊治療」で検索しても市の助成事業がヒットせず、市民が必要な情報にたどり着けない。「人口を本当に増やす気があるのか」と市の姿勢を問いただした。	市長は「生殖補助医療では分らないと思います。すいませんでした」と非を認め、「不妊治療という文言を入れて分かりやすく発信するように変えさせていたきたい」と即時改善を約束した。
市の窓口の役割	市のホームページでは、相談窓口として県のセンターを紹介する記述が多く、「県に行くとばかり」の案内になっている。市としてまず相談を受け止める体制が不十分である。	市長は「いきなり県に行けというのはいかかと私も思っております」と同意。「日本一優しい市役所を目指すんであればまずおいでください」と。その上で会話の中で、こういう仕組みが県にありますというのがやり方」と述べ、市の窓口のあり方を見直す考えを示した。
助成制度の実績	総社市の助成実績は昨年度19件、支給額約150万円。同規模（人口7万人）自治体の平均が20～40組、400万～600万円であるのに比べ、劣っている可能性がある。	市長は助成のあり方について「できる範囲の中であれば検討して、それに加えていくというのは、まあ考えなければいけない課題だ」と述べ、拡充を検討する姿勢を示した。
精神的サポートの不足	不妊治療は経済的負担に加え、精神的な負担も大きい。他自治体にあるような市独自のサポートセンターや、当事者が情報交換できる場が総社市にはない。	市長は「心の問題」の重要性を認め、当事者が抱える悩みの深刻さに言及。助成制度の検討と合わせ、精神的なサポートの必要性を認識している。

不妊治療の実態

体外受精は除適用後も、15万円から20万円の自己負担が発生します。先進医療、付加検査、胚・配偶子の凍結・保管料など保険適用外の費用も必要で家計を圧迫しています。

最近の統計では10人に1人が体外受精で生まれていることがわかっています。

人口増を願うなら、きめ細かな経済的・精神的サポートが必要です。



領収書等貼付用紙

議員氏名

仁熊 進

支出年月日	<u>令和7年 9月 6日</u> (～ 年 月 日)
金額	<u>24,000</u> 円
使 途 項 目 (該当を○で囲む)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
(領収書等貼付欄)	

No.
発行日 令和7年 9月 6日

領 収 書

総社市議会議員 仁熊 進 様

金額 ¥24,000-但し 広報誌配布3000枚配布、期間9/6から9/13
上記正に領収いたしました。印 収
紙 入

(使途等)

議政報告配布代 3,000枚期間(9/6～9/13) 江戸(井手、総社、服部)(案分率及び案分理由等記入欄)
※案分した場合に記入